

キリスト教と文化

— 価値をめぐる戦いの行方 —

1. キリスト教と文化の相互関係
2. 世俗文化との戦い
3. アメリカ文化の中の宗教

1. キリスト教と文化の相互関係

文化への影響

- キリスト教は教会という信仰共同体の内部に限定されない社会的影響力を持ってきた。
- パウル・ティリッヒ「宗教は文化の本質であり、文化は宗教の形式である」

文化からの影響

- 文化はキリスト教にどのような変容をもたらしたか
 - ヘブライズム (ユダヤ思想)
 - ヘレニズム (ギリシア思想)

土着化

- キリスト教のローカルな文化に対する適応
- 西欧のキリスト教も土着化の一形態と考えるべき

2. 世俗文化との戦い

社会の世俗化

- 「世俗化」とは、もともと、宗教改革の時代に、教会の財産（土地や建物など）を行政に譲渡することを指していた。
- キリスト教の影響が次第に減退していく現象を広く「世俗化」と呼ぶようになった。

7

世俗化の事例

- ヨーロッパ
 - 世俗化が進行した社会
 - 世俗主義≒宗教からの自由
- アメリカ
 - 世俗化と共に宗教復興運動が起こる
 - 世俗主義≒宗教への自由

政教分離

- 私的領域と公的領域の分離
- 宗教の位置づけは、国によって、かなりの違いがある。

3. アメリカ文化の中の宗教

カウンターカルチャー

- 対抗文化
 - 1960年代
 - 性の解放、家族観の多様化、女性解放運動、ロック、ドラッグ、東洋宗教の大衆文化への流入

教派の比率（全人口比）

- プロテスタント 52%
- カトリック 24%
- モルモン教 2%
(末日聖徒イエス・キリスト教会)
- 正教会 1%

12

教派の役割の変化

- 現在では、教派の違いは大きな意味を持たなくなりつつあり、「保守派」か「リベラル派」か、という区分が大きな役割を果たしている。

文化戦争 Culture War

- アメリカを二分する価値の対立
- 共和党と民主党の宗教政策の違いと、その帰結